いわき民報
發行所 いわき民報社
平市本町一番地(電話三八一番)
編輯發行印刷人 千輝克己
日刊 但月曜日を除く
定價 一ケ月五円 一部二十錢

看護婦募集
成るべく經驗ある方を望む
履歷書持參のこと
小名濱町公園下
松田外科醫院

# 木炭の隘路打開に

# 市民から軍資金集め

## 區內會長懇談會の結果決定

既に十一月に入るのに市內の木炭配給狀況は九月分が一部に配給されたのみで十月分は全然見込がない、生産者は値上りを豫想して山から出さない、これからの寒さをどうするか、市民の勸進元配給課では頭をなやまして居たが二十九日區內會長懇談會を開いた結果要は木炭の獲保にありと市民に呼びかけて燃料對策費寄附募集を行ひ夫等の隘路を打開する事になつた、計畫の內容は目標年八萬圓(二回に分けて募集)中六萬圓を一般消費者から二万圓を業務用受配者から募集する、一般消費者は大体一世帶五圓平均農家は二圓平均とし各家庭の負擔能力等ににらみ合せて一俵につき幾何と限定せず業務用受配者分はその使用量に應じて募集することとし本年度は第一回分として四萬圓を十一月迄に募集する事となつた

### 綜合通帳配布日割

市配給課で例年の樣に十一月から綜合通帳の新規發行を行ふが各區の交付期日は左の通り

一日(一區から六區まで)二日(七區から十一區迄)四日(十二區から十七區迄)五日(十八區から二十三區迄)六日(二十四區から二十八區迄)七日(二十九區から三十六區迄)

### 友部平驛長勇退

交通公社支社長へ

平驛長友部弘勇氏(五六)は一身上の都合で二十九日退職した、來月一日から開設される交通公社平支社の支社長に內定されてゐる

## 篤農青年集めて甘藷の會を結成

### 懸案の助骨植に成功

甘藷の增産をはかるため市農業會では平窪の篤農家會田一氏(三八)に對して、藷の肋骨植えを試驗的に實施せしめたが、この程その成果が判つて、一本で百四十五本といふ收穫をみたので、明年度からは一般にも極力勸奬すべく篤農青年九十八名を集めて今度〝藷の會〟を結成、更らに一層の研究に拍車をかけ〝甘藷平〟を誇ることゝなつた右について同會では從來甘藷は施肥の如何で失敗が多いとされ、危險視されてゐたのであるが、今回會田氏の努力で、施肥の時期さへ誤らねば大丈夫であることが立證されたことは、地味ではあるが、業界にとつては一大收穫である、今後どしどし思ひ切つて一般に勸めると語つてゐる

## 果してどう裁く？

### 田邊問題で地區聯で議論百出 吳羽は飽迄除名を强硬に主張

既報電産スト應援のため結成された濱通り地區共同鬪爭委員會に對して政治的ゼネストの非を理由に脱退を聲明した田邊製作所は勞組としての本來の使命は不變であるから濱三郡勞組地區聯の一員としての立場は從前通りであると申込んだが吳羽工業(錦)の意見は强硬で除名問題と聲明書發表にまで紛糾して居る一部の意見としては問題は中央にあるもの故地方支部の勞組內で共同鬪爭の脱退に依り除名する必要はないとも云はれて居るが果たしてどう動くか地區聯の裁きが見物である

### 店開きは十日

市の青果物市場

市農業會の青果物直賣所は舊市役所跡に二十余坪の市場も完成し店開きを待つてゐる、店開きは縣の認可あり次第とあるが十一月十日頃の豫定

### 學帽製作講習終了

同胞援護會支部では生困者を對象に二十四日來市授產所で學帽製作講習を行つてゐたが三十日閉講、受講者二十八名は引續き日産三百個を目指し頑張ることゝした、近く受講者の就職斡旋範圍を擴大要援護者の就職斡旋にも乘り出す

### 田邊鐵工從組總會

田邊鐵工所從組總會は三日磐崎村日鳥鑛泉で開く

### 神谷農組結成

神谷村農民組合では三日の憲法發布記念をトし結成式を擧げる

### リンゴの闇

草野村大字馬目玉七二農宇佐美たかこ(三六)は本月初旬草野驛前で某氏からリンゴ七貫を一貫匁八十圓の割で買ひ、これを大野村玉山高山イヱノに對し一貫匁百圓で三貫目を賣却三十日平署へ

### 植田農組の役員決定す

植田町農民組合の結成式は廿七日開き役員を決定した
▽組合長赤津千里、副組合長竹原周道、同渡邊新太郎、書記長樫村淸

## 炭配給の新割當決定

### 本年の基準より平均一俵減

市配給課では十一月からの木炭配給計畫を左の通り樹立、市民の越冬に努力する事になつた、縣割當は木炭五万八千四百六十九俵、薪一萬九千八百十一石で昨年に比較して木炭は一萬八千二百四十二俵で四割減となつて居るが之ではどても市民の越冬は出來ないので縣割當に拘泥せず前年の基準より各世帶一俵減に止め、寄附募集等に依り隘路を打開し、極力木炭の確保に努力消費割當の全量配給を期する

▼一般家庭(年數)一人世帶九俵、二人同十俵、三人同十二俵、四人同十三俵、五人同十四俵、六人同十五俵、七、八人同十六俵、九、十人同十七俵、十一、十二同十八俵、十三人以上同十九俵

▼農家一戸平均四俵として區內會單位に割當し區內會に於て山林所有の有無燃料の自給狀況を調査して定める

▼ガス使用世帶は現下の配給狀況に鑑み一應二割減配給を廢止するが綜合通帳に記載し今後のガス配給能力の狀況に依り適宜減配の處置をとる

### 供出促進の懇談會を

生產地農業會と

市燃料對策委員會では十一月四日農業會支部に懇談會を開き川前、川內、永戸、箕輪、三阪、澤渡小川の各農業會に呼びかけ生產者側の供出促進運動を展開する

### 吳羽化學も要求提出

廿八日代表上京

錦町吳羽化學勞組では五百余の從組員が一丸となり會社側に
△半期內に十日間の有休休暇
△退職金は最終月の一ケ年分支給のこと
△甲勤税會社半額負擔
の三件を要求、二十六日の會見で半期內十日間の有休休暇のみ會社側で承認したが、二十八日代表數氏が東京本社と再交渉に入つた、勞組側では會社側が要求を入れぬ場合、飽迄スト戰術に入る旨聲明を發表した

## 供米割當是正陳情

### 地方事務所の態度も强硬

上遠野村農家組合代表八名は二十九日地方事務所經濟課を訪れ高田課長に供米割當是正についての決議文を手交した

內容は村割當供米は四千三百俵と決定したが、これは何を基礎としての割當か、すべて割當は種々の調査に基づいてやつてほしい

とあり、地方事務所では調査班の資料によつて誠意をつくして居るのに拘らずこの樣なことがあつては事態によつては收穫量の臨檢も止むを得ずと同組合代表に回答するところあつた

### 戰災者へニユム釜

市配給課では戰災者にニユム製のお釜を配給する、全然もたない人に優先的に隣組の調査に依り配給する、期日は十月三十日から十日間、商店は釜屋、坂田、關原金物店、價格は大(五二圓)中(四十四圓二十錢)小(三十七圓三十錢)

### 價格票を怠り

平市胡麻澤水谷學(四四)は去る二十二日頃りんご八貫匁其他衣類三百十五点に價格をつけずに販賣してゐたこと發覺三十日平署へ

## 眞似井作林道工事

### 觀光道路を兼ねて來月着工

工費十万余圓を投ずる市懸案の上平窪地內眞似井作林道開鑿工事は元市議鈴木庄之助氏ほか九氏を建設委員に擧げ來月中旬から愈々着工することに決した同工事完成の曉には上下窪地內奥地に滯貨の薪炭材、復興資材等どし〳〵市復興に運搬されることになるばかりか、市の觀光道路ともなり、石森山を控へて頗る快適なコースとなる譯で各方面から期待をかけられてゐる

求 時計職人
優遇す本人來談
平驛前
上原時計店

### 小名濱の塵埃處理問題解決

來月から荷馬車三臺で蒐集開始

小名濱町の癌となつてゐた塵埃處理問題は、完全に蒐集運搬するには毎日荷馬車三臺を要するので行き惱みの有樣であつたが放置することは衛生上の見地から許されぬとあり、先般の町常會に諮つた結果、漸く成案を得たので、來る十一月一日から荷馬車三臺を使役し蒐集の上、燒却處分をなすに決定、町の美觀を損する塵埃問題もこゝに解決を見るに至つた

### いわき寸言

▼市農業會で篤農青年を糾合して〝藷の會〟を作り試驗中であつた肋骨植えを奬める、この結果をもたらした會田一氏の努力を忘るゝ勿れ

▼木炭の隘路打開に窮した揚句市民から資金の寄附募集を行ふとある、市民から募る以上、戰爭中寄物配給斡旋に手數料を徴收、非難を被つたやうなヘマは極力避くべし

▼田邊從組の電産スト共同鬪爭委員會脱退問題から地區聯に議論百出、吳羽あたりは除名を叫ぶ、果してどうけりがつけられるか？今後の勞組の行動に絡んで注目の的となる

▼觀光道路を兼ねる眞似井の林道工事いよ〳〵來月中に着工と決す、市としてはなか〳〵上出來の計劃、大いにやるべし、〝觀光平〟を今迄忘れ過ぎてゐた

女給さん募集
カフエー
エビス
湯本町

電氣ガス熔接用器具
電氣ガス熔接棒
在庫品豊富
大量注文に應ず
不二工業株式會社
本店 東京都本所區綠町四ノ三〇
營業所 東京都神田區元岩井町三

カサブランカ
モロツコの首都・灼熱の都
一發の銃聲に展く
血の戰慄と情炎の
豪華巨篇！
一九四三年アカデミー受賞
イングリツトベルクマン
ハンフリイボガード
コンラツトフアイト
カサブランカ
マイケルウーテス演出
愈々五日より登場
明快なるトーキー
鮮烈な映寫
內鄉 第二イワキ
只今上映中四日まで
桃色の旅行鞄
南海のポパイ

# 日本農業の展望と農民の任務

## 東大神谷慶一教官講演要旨

（上）

東大農學部教官神谷慶一氏は廿七日食糧營團平出張所樓上で開催の農業會石城支部主催第一回職員講習會で〃日本農業の展望と農民の任務〃と題し農村の民主化についての講演を行ひ深い感銘を與へたその內容の大要を拾つてみる――

いまゝでの日本は親子、君臣、親分兒分、地主小作と言つた上下の關係だけで農民を一人步きの出來ぬ無能力者として人格を無視した政策がとられて來た、農民は今まで全く自分が自分でなかつた、個々人の人格を尊重する民主々義的なものでなく對人關係でも滅私奉公などゝ言つて人格を傷けてまでも奉仕し奉仕を要求すると言つた封建的な仕組のなかにあつた、ところがいまや敗戰とゝもにかつての親でありリーダーだつたが戰犯者となり一人步きの出來なかつた子供がいまや自分の足で立つことになつた、位置は轉倒した、これが革命である、いまゝでの社會がひつくり返つてデモス（勤勞者）である農民の集りの力が出て來た、尤も逆說的に言へば革命と言つても本當に力のあるものが出て來ただけのこと、逆立ちしてゐた足をもとの大地にとり戻しただけの全くあたりまへのことゝも言へる、デモスの力＝それがあのルネツサンスであり日本でも封建的な德川時代のある時期に武家（當時の支配階級）でない民衆のなかゝら歌舞伎とか長唄とか淨瑠璃とか言つて今もなほ吾々から親しまれてゐる庶民の藝術が生れてゐる、これがデモスの力であつた。この力の自覺、これこそ日本農村の將來の課題である、私はこれからこれをもとにして農村がどうなるか、農民がどうなるかと言つた日本農業の將來について概說するつもりである、先づ第一に現在の農村はどうか、世間からどうみられてゐるかと言ふ問題をとりあげると世間では農村はインフレだ、農村は好況時代だと言はれてゐる、農村自身も農業恐慌の心配は心配として現在はたしかに良いと思つてゐる、しかし農家の經營狀態を觀察すると決して農村は黑字ではない現在すでに赤字であり從つて農業恐慌は將來の問題ではなくて現在がすでにそうだと言へる、この農業經營を今から建直すこと、こそ農村に課せられた急務である、たとへばアメリカの小麥は一ブツセル（二斗）二ドルである、一ドルは日本の貨幣に換算すると十五圓だから一斗十五圓として一石百五十圓の勘定で運賃、諸掛をみてもせい〴〵百八十圓である、これは日本の米價一石五百五十圓の三分の一と言ふ安値である、この小麥がどん〳〵入つて來れば直ちに日本の農業は破滅する、これに對處するには日本の金一グムの生產費が六十五圓、アメリカは一グラム一ドル余となつてゐるから現在の一ドル十五圓を一ドル六十五圓まで平價を切下げれば良いことになる、平價の切下げは農村にとつて決して不利ではない、現行の一ドル十五圓では絕對駄目だ、勿論これは國際關係によるもので吾々がこれを望んでできるものではないがこれには農村の利益をよく代表する政治家を必要とする、その政治家は耕作者の中から出て行かねばならない、經營の面ではどんな場合でも痛まない經營組織をつくることだ、これには經營の集約化〃勞働以外の生產具などの資本的な集約化と智能と技術の集約化及びこれとならんで部落の向上、生活の向上が必要である、吾々はこれを〃資本と智能の集約化〃と呼

靜岡縣ではこのためすでに產業地圖をつくり郡も町村もこの方針をとつてゐる、勿論世界的と言つても國際關係はまだ國境がとれてゐないのだから主穀は確保せねばならぬ、その上での適地適作である（未定）

寒さの御用意！
實用屛風
二枚折、六枚折、枕屛風
各種入荷致しました
あらゆる百貨問屋
平市六丁目大通り
さかいや商店
新設電話四八五番

## 消費組合所感（2）

小名濱消費組合　黑田雄壽

組合は單に物に安く求める商店ではない。皆の生活の矛盾やその要求をどうすればよいかと批判し決定した事は協力して實行して行く所で常に買手は賣手であり使用價値のあるものを求めるべく連絡しなければならないと思ひます、組合が營利を遂つたり、その役員が賣名や政治的野心を出來心にも持つたりすることは最も運營に危險な線でありあくまでも飽く迄も同胞愛にねざす利己心のない無色透明な結合こそ要であります。その感情思ひやりは知ることによつて釀された組合員各自〳〵が使命を理解して組織の强化即ち運營への批判要求、組合員の增加、組合精神の普及に努め私達の組合の理念の統一こそ協同の根本義と確心します、職員も亦努めて組合が商店化されないやうに益互の連絡理解に努めることこそ大要であります。そして組合は單に組合員のみの利己的機關ではなく大衆、經濟擁護の自覺者の集ひである故に、其の主となつてゐる町の配給面に對する批判も役場へ又組合事務所へ連絡して町民經濟を利すべく努力し常にこの運動に協力して未知の人や弱い力に呼びかけてゆくべきであります。業者との對立を危惧する人があると思ひます對立を考へることが旣に社會性のないことで業者も亦消費者であり皆が勤勞大衆です、その技術、資材、經驗こそ民衆のため善用し相互扶助の豐かな生活へ協議して下さるやうに切望して居ます。組合運營は合法にゆく事に至難性が多いが決して無理があつてはならなく第一回に統制に於いて獨占事業に阻止されて殆んど全滅したがこれと同じ階程が第二回の統制に於て又來た、然し合法的に運營する爲非常な困難に忍耐が必要となつた然し暗い夜の次ぎには必ず明るい曉が來る、そして組合は却つて『雨降つて地をかため』縣下の組合は大同歸一して縣生活協同組合聯合會を結成し日本協同組合同盟に連なり更に國際協同組合の心强い呼びかけに運つてます〳〵統合され有機的に即ちスエーデンのKFの運動の如く進まんとしてゐる、その力と生活に喘ぐ大衆の聲と現實の切實性から我々の行手に明るみが來ました夜明けは近い、夜明け前の暗さはひとあわ暗いけれども自覺者の集ひである組合員は强く忍耐して正しく食ふべく結んだ組織を食ふために正しくもりあげてゆくべく協力されんことを切望します（完）

## 映畫紹介

――パラマウント作品――

### 淑女と拳骨

昨日から聚樂館で

ロバアト・リイスとフレツト・リナルドの原作とクロオド・ビニヨンが脚色、パラマウントのミツチエル・ライゼンが監督、クロオデツト・コルベエルとフレツド・マクマレイが共演パラマウント映畫名物女優イルカ・チエイス、ロンドンの舞臺出身のリチヤアド・ハイドンその他バウル・マククラス、ジユウンハヴオツク等が助演してゐる、撮影は『眞珠の首飾』等を擔當したチヤアルス・ラングで一九四三年度の作品である

【略筋】

紐育の雜誌社の寫眞部員として腕利きのキヤスリン・グランドはイースト・リヴアの河川隧道工事を撮影にゆき技師のライアンが鐵骨を振つて立廻りをしてゐるところを撮つてしまふ。これが紙上に出たゝめジムは四ケ月間の休職を命じられる責任を感じたキヤスリンはジムを自分の助手に雇ふ、がジムは頗る强氣で一向恩に着た樣子もない上、事每に彼女と衝突する或る日彼はレヴユウを撮りにゆき踊子のダアリインと仲よくなる。何となく彼を好きになつてゐるキヤスリンはこれが面白くない。色々珍騷動の後、休職がとけたジムは土砂堰止裝置を考案し、多くの新聞雜誌社の立會の下にこれを試驗することになる。キヤスリンはこの裝置の中へ工夫達と一諸にもぐり込み特寫を撮るが、裝置に不備な點があり、土砂が侵入、大事に至るが一同は辛くも救はれる。ジムはキヤスリンがもぐつてゐたことを大いに憤慨するが、彼女は裝置の缺點は撮つたフイルムに收まつてゐる筈だといひ、河中へ紛失したカメラを探し出す。その結果不備の個所は判明し、裝置は完成される。そしてジムは友人の口からキヤスリンが自分を愛してゐることをきかされる。遂に我を折つて仲直りする。（全十卷）

## いわき俳壇

平俳句會同人集

――草風居句會抄――

渡邊何鳴

菊燎亂喫煙室の窓の日に
豆柿のひからびてゐる梢かな
乳ぜり泣く子にうそ寒の肌よせて

遠藤秋朗子

地埃にまみれ野菊の亂れ伏す
定まらぬ日和つゞきてうそ寒く

川崎古塔里

磐石のこけ色ゆたか秋の雨
門先の野菊に雨のいちじるし
ひる寢して窓の日ざしに追はれけり

伊藤寒山子

うそ寒のハンドル持ちて立話
傾きてトロのとまりし野菊かな
吾子よぶ露地に下り立ちうそ寒き

鈴木紅果

種南瓜襤褸のごとき莖を垂れ
步を止めし人形賣場やうそ寒し
やま〳〵の日々のとがりや冬支度
落ちてある絹ハンカチに野菊濃し

綿引伊佐夫

夜に入りていたくぞ强し秋の雨
うそ寒く湯ざめ覺えつ熱き茶を
雨はれてむらさきさめし野菊かな

綿引欣吾

川原なる櫟の梢え鵙猛る
破芭蕉雨なほたゝく夜となりぬ

菊地野笛

住職も百姓にして稻を刈る
仕事場に落葉カンナの屑と舞ふ

石森山に遊ぶ　遠藤秋朗子

秋の雲ゆきゝけはしき日なりけり
滿蕎麥に野のせゝらぎのうつくしき
くゝられて竹添えられし倒れ稻
峽深く家相寄りて柿の秋
秋の蝶ひら〳〵めぐるあはれさよ
歸の子のなまりは愛し柿の秋
倒れ稻いたはり起し水落とす
とざされし彌宜の家かも秋の山
落葉踏む音のかそけく坂は急
もず鳴きて深きしゞまにつゝまるゝ

石森觀音

堂門の朽ちかたぶきて降る落葉
堂守りの井戸水うまし草もみじ
枯羊齒やたぐれる釣瓶たど〳〵し
堂守りの榾積みかさね冬構
秋の山そびらに觀音堂古りぬ
ひそけさや落葉に埋もれ堂の秋
祈願札べた〳〵貼られ堂の秋
祈願札の人よいづこに堂の秋
杉の實や堂裏すぐに柚の徑
山深くして秋耕の人を見し
おとり籠それ〴〵抱き子等の秋
おとりなく木噴き杉間陽をこぼす
みはるかす幾重なす山秋の色
まなかひに峰打ち重ね秋の色
憩ひ食む饗餉はうまし濃りんだう
會釋して馬叱りゆく野菊かな

◇燃燒界の寵兒◇
特許一二三九九
登錄二〇二一〇
時田式 鋸屑燃燒器 オガストーブ 發賣
製品輸送に限度ありお早くお買求め下さい
販賣所 平市 釜屋

寫眞の御用は
新裝のスタヂオが皆樣をお待ちして居ります
小名濱町本町
助川寫眞スタヂオ

女從業員大募集
小名濱カフエー
うきよ
電一三三番

トロリー式機
パーマネント
平市田町銀座通り
⦿メイ化粧品部⦿
メイ美容室
▽經驗者未經驗者若干名急募△